

NEC

クウェート最大の携帯電話事業者から
フェムトセルシステムを受注

NECは、クウェート最大の携帯電話事業者であるZainから、フェムトセルシステム一式を受注した。Zainは、NECが提供するシステムを活用して、同国初となる商用フェムトセルサービスを本年中に開始する予定だ。

フェムトセルは屋内に設置する超小型の無線基地局で、携帯電話の電波を屋内に引き込まれているブロードバンド回線を利用して送受信できる。電波が届きにくい室内でも携帯電話が利用できるようになることから、電波不感エリアを解消する手段として採用が進んでいる。

今回NECが受注したのは、オフィスや家庭内に設置するフェムトセル並びに、フェムトセルをZainのコアネットワークシステムに接続するためのフェムトセルゲートウェイなど。Zainは、中東地域を中心に7つの国で携帯電話サービスを提供しており、クウェートでの商用フェムトセルサービスを皮切りに他の国においてもサービスを展開することを検討している。

NECはフェムトセル関連事業にいち早く着手し、これまで国内外の14の携帯電話事業者とシステム納入契約を結んでいる。加えて、現在28件のトライアルを実施するなど、フェムトセル分野において豊富な実績を有している。また、NECは、2007年7月に設立された業界団体「フェムトフォーラム」のボードメンバーとしても中心的な役割を果たしている。2009年には、同フォーラムより「Progress in Commercial Deployment」アワードを、2010年には「Femtocell Network Design and Technology Innovation」アワードを、さらに、Telecom Asia Magazineの2010年「Femtocell Vendor of the Year」最優秀賞を受賞するなど、活動や先進性は業界内でも広く認められている。NECでは今回のZainからの受注は、こうしたフェムトセル事業における活動や先進性が高く評価された結果だと考えている。

NEC : <http://www.nec.co.jp/press/ja/1106/0603.html/>

日本オラクル

シダックスがERPパッケージを活用して
グループ共通会計システムを導入

日本オラクルは、シダックスがオラクルのERPパッケージ「JD Edwards EnterpriseOne」を活用してグループ共通会計システムを構築し、稼動開始したことを発表した。

シダックスグループは、フードサービス事業、レストランカラオケ事業、トータルアウトソーシング事業など、14の連結子会社を持つ総合サービス企業だ。シダックスグループでは従来、各事業に固有の業務システムを運用していた。その結果、運用管理コストの増大や煩雑化するシステム間の連携のために、情報システムや利用部門に業務の重複や作業負荷が発生していた。これらの課題を解決し、さらにグループ全体としての経営コンセプトである「水平垂直統合」の相乗効果を発揮するため、経営戦略に即したシステム基盤を構築するためのITプロジェクトを発足した。同プロジェクトでは、全事業共通のシステムと事業ごとに必要となるシステムを分類し、グループ全体の最適化に向けたシステム導入計画をたてた。その一環であるグループ共通の会計システムでは、以前より進めていたグループ統一の会計業務をもとに、さらなる業務効率化、標準化と経営管理情報の品質向上を目指し、パッケージ製品を活用して機能追加を最小限に抑えて導入する方針を固めた。

シダックスグループは、グループ会計の実装、短期かつ低コストによる導入や今後のさらなる成長に併せて拡張できるERPパッケージとして、JD Edwards EnterpriseOneの採用を決定した。現在は、JD Edwards EnterpriseOneを活用し、3つの会計システムを1つに統合している。今後は、会計システムの共通化により会計処理のルール、コード体系、業務プロセスの標準化を実現し、店舗を基軸にした収支情報の管理、グループ間の会計情報の連携強化などを実現していく。

日本オラクル TEL : 03-6834-4837

ANAのインターネット予約サイトを プライベートクラウドで構築

伊藤忠テクノソリューションズ（以下、CTC）は、日本ビューレット・パカード（以下、日本HP）の協力のもと、全日本空輸株式会社（以下、ANA）が運営するインターネット予約サイト「ANA SKY WEB」（URL：http://www.ana.co.jp/）を支える大規模インフラ基盤をプライベートクラウドで構築した。

インターネットの浸透とともに、ANA SKY WEBを利用した航空券のインターネット売上高は、年々増加を続け、大規模かつ重要な販売チャネルとなっている。今回、CTCの実績あるクラウドサービスと日本HPの提供する効率的運用管理を実現するクラウドインフラソリューション「HP BladeSystem Matrix」、オラクルの超高速データ処理技術「Oracle Coherence」により、拡大するビジネスに耐えうる安定かつ効率的な販売基盤構築をサポートし、ANAのビジネス拡大に貢献していく。

CTCは、いち早く仮想化／統合化技術に取り組み、プライベートクラウドの構築、パブリッククラウドサービスの提供を行ってきた。昨年10月から、「クラウド時代のビジネスインフラストラクチャーを創造」という基本コンセプトを掲げ、これまでの実績あるクラウドサービスを整備・体系化し、全社統一ブランド「cloudage」の展開を進めている。

今回のANA SKY WEB新基盤は、cloudageサービスラインアップを活用することで、従来のシステムと比較して空席照会機能の処理時間を約10分の1に短縮するなど、今後さらに拡大するANAのビジネスを支える、安定的な性能の確保と品質の向上を実現した。また、ANA SKY WEB新基盤は、ANAのデータセンター内にCTCがサーバやネットワーク、ストレージなどのIT資産を含めたANAのプライベートクラウドを保有する形で運用していく。システムリソースの柔軟な変更を可能とし、システムの使用量に応じた課金モデルを導入することにより、ビジネス環境の変化に柔軟かつ効率的に対

応できるIT基盤を提供していく。ANA SKY WEB新基盤の特長は以下の通りだ。

- ①柔軟なシステムリソースの変更に連動した従量料金による課金モデルの実現：予見されるピークに対してスケーリング環境のリソースを容易に本番環境へ追加することや、リソースが不足した際のシステムリソースの追加といった柔軟な変更が課金モデルと連動して提供可能。
- ②本HPのクラウドインフラソリューションを採用：HP BladeSystem Matrixは、HP BladeSystem c-Classを中核としたITインフラストラクチャの統合化、および自動化を実現し、お客様がシステムごとに実施してきたアプリケーション要件に基づくサイジング、構成検討、機器オーダー、設置、プロビジョニング、インストール・環境構築などの一連の作業を簡素化、自動化、迅速化を実現。これにより、ビジネス環境の変化に迅速に対応できるIT環境を効率的に構築することができる。
- ③オラクルの最先端テクノロジー、インメモリ・データグリッドを採用：Oracle Coherenceはオンラインで伸縮可能な共有メモリ空間をアプリケーションに提供し、突発的な高負荷への柔軟な対応を可能にする。これまでバックエンドのレガシーシステムへ問合せをしていた空席照会機能をインメモリ・データグリッドへ実装することで、バックエンドへのクエリーを削減し、ピーク時のトランザクションにおいても安定的な性能の確保を実現した。
- ④可用性／信頼性の大幅な向上：現行の他システムとの連携や、アプリケーションの運用性などにも配慮し、統合監視、ネットワーク／セキュリティ等の周辺システムもトータルで刷新することで、24時間365日稼働のミッションクリティカルシステムの可用性／信頼性の大幅な向上を実現した。

伊藤忠テクノソリューションズ TEL：03-6203-4100

CTC / 日本ネティーズ

建機レンタル最大手のアクティオに
DWHとBIシステムを導入

伊藤忠テクノソリューションズ（以下、CTC）とIBMグループの日本ネティーズは、データウェアハウス（DWH）アプライアンスの「Netezza」とBIツールの「SAP Business Objects」を用いて建機レンタルサービスを提供するアクティオの経営情報分析システムを構築した。本システムは2011年5月から稼働を開始している。経営に必要な情報分析基盤を刷新することで、多様な分析データの利用が可能になり、既存システムに比べ1/3のコスト削減を実現した。財務部門を対象に活用されているこのシステムは、今後、営業部門まで対象範囲を拡大する予定だ。

アクティオは、建機レンタルのリーディングカンパニーであり、建築工事、土木工事に関する総合建機レンタルの事業をはじめ、発電機や工場の非常用電源など産業界に幅広く機器のレンタルを展開している。顧客ニーズに合わせて次々に品揃えを拡充しているため、レンタル品は大型重機、レンタカーから現場の電動工具まで広範囲に及んでいる。広範囲な種類・数のレンタル品を取り扱うアクティオでは、月に約6,000万件という膨大な取引データが発生する。財務部門、営業、マーケティングなどの現場は販売・売上などの分析データを必要としているが、既存の分析システムではサーバ負荷が高まりバッチ時間が長時間化したり、データ抽出作業など担当者の運用負荷が高まるという課題を踏まえ、DWHシステムのリプレースを決定した。

システム刷新にあたってはDWH・BIの構築で実績のあるCTCと共に様々な製品の比較検討を行い、多くの実績を有し、短期での導入を実現できることから、IBM Netezza アプライアンスと、SAP Business Objectsを採用した。アクティオでは、今後はこのシステムをさらに拡充し、情報分析基盤として活用していく予定だ。

伊藤忠テクノソリューションズ TEL：03-6203-4100
日本ネティーズ TEL：03-5456-4557

ウイングアーク テクノロジーズ

おおさかパルコープが帳票システム基盤に
「SVF/RDE」を採用

ウイングアーク テクノロジーズは「安全でよりよい物をより安く」という理念のもと、食品関連事業を中核に、共済、福祉、旅行など、様々な事業を展開し、33万人を超える組合員の平和で最適な暮らしをサポートすることを目指す生活協同組合 おおさかパルコープ（本社：大阪市都島区）が、基幹系印刷システムの刷新にあたり、帳票システム基盤として帳票基盤ソリューション「SVF/RDE」を採用したことを発表した。

おおさかパルコープでは、個人宅配・共同購入の商品を配送するための1ヶ月あたり約20万ページに及ぶ伝票を基幹システムと連携したプリントサーバーを経由して本部の専用プリンターから一括出力する仕組みを構築していた。しかし、伝票レイアウトの変更依頼があった場合に、プリントサーバーを構築したメーカーにレイアウトの修正を依頼しなければならず、修正には開発期間とコストがかかるという課題も抱えていた。そこで同社は、プリントサーバーの保守終了に伴い、より柔軟で迅速な帳票運用環境を提供するため、2010年6月よりSVF/RDEを採用した新しい帳票システムの本格稼働を開始した。この基幹系印刷システムには、複数伝票のソート・マージ・分割・仕分けという要件に対応するため、SVFと親和性の高いOpenBOST for SVFが採用され、運用を支えている。また、本システムの構築・サポートは、両製品連携の実績やノウハウを持つインフォコム社が支援を行っている。

導入以前は、1ヶ月あたり20万ページ以上の個人宅配・グループ購入の伝票が出力されていたが、SVF/RDE導入後は、データ件数に応じた可変イメージの複雑なレイアウトを開発・作成できたことで、現在の出力枚数は10万ページ弱と印刷ボリュームは半減され、伝票印刷のためのランニングコストも大幅に削減された。

ウイングアーク テクノロジーズ TEL：03-5962-7300

ジュニパーネットワークス

ドワンゴがデータセンターのネットワーク基盤に「MXシリーズ」と「EXシリーズ」を採用

ジュニパーネットワークスは、ドワンゴ（本社：東京都中央区）のデータセンターのネットワーク基盤に、3Dユニバーサル・エッジルーター「MXシリーズ」と、イーサネットスイッチ「EXシリーズ」が導入されたことを発表した。

ドワンゴは、動画コミュニティサイト「ニコニコ動画」などのコンテンツを安定的にユーザーに提供するため、継続的にデータセンターを強化している。特に、ニコニコ動画の利用者数は急激に増加しており、2011年3月末現在、一般会員数は2,100万人、有料のニコニコプレミアム会員は120万人超に達している。今後もさらなるトラフィック増が見込まれることから、ネットワーク機器の調達においては、機器の安定性はもちろん、同等のレベルで拡張性も重視している。

2009年、ドワンゴは、データセンターのエッジルーターとして、ジュニパーネットワークスの「MX480」を導入した。機器の選定においては、安定性と拡張性に加え、高いポート密度や10Gbps対応のワイヤレートのパフォーマンスが評価された。また、導入後のMX480の運用においてキャリアクラスの高い信頼性や拡張性が評価され、コアネットワークに「MX960」を、サーバファームに「EX4200シリーズ」および「EX4500」を新たに導入した。

ドワンゴは、MX480とMX960を、他社製スイッチとともにリンクアグリケーション構成にし、またEX4200シリーズに搭載された独自の仮想化技術である「バーチャル・シャーシ」機能も活用するなど、先端技術を活かして高信頼・広帯域のネットワーク環境を実現している。さらに、データセンター内部のファイアウォールを構成する一つとして、サービス・ゲートウェイ「SRX240」も導入した。

ジュニパーネットワークス TEL：03-5333-7400（代表）

ネットアップ

ビットアイルがストレージ基盤として「NetApp FASシステム」を採用

ネットアップは、ビットアイル（本社：東京都港区）が2011年5月より開始したクラウドストレージサービス「NAS Plus」のストレージ基盤として、同社の最新の「NetApp FASシステム」を採用したことを発表した。

ビットアイルのNAS Plusは、同社のコロケーションやクラウド系サービスから独自のプライベートネットワーク（BI-VLAN）経由で利用するクラウドストレージサービスである。ストレージのディスク領域として最大15TBをサポートし、1TB単位でディスク容量を契約できる。また、各サービスからはNFS（NFSv3）またはCIFS（SMB 2.0）経由で接続し、既に稼働しているコロケーション環境やクラウド系サービスのデータバックアップ、大容量コンテンツの長期保管、NASの特性を生かした社内向けのファイル共有など、汎用的なファイルサーバとして用途を限定せずに利用することが可能だ。

NAS Plusのプロジェクトは2010年10月頃にスタートしたが、ビットアイルの各サービスが、顧客ごとに用意されたプライベートネットワーク（BI-VLAN）環境の中で提供されているため、当初は顧客ごとに個別のストレージシステムを物理的に割り当てるシステム構成を想定していた。しかし、十分なサービスレベルを担保するには高価なストレージシステムが必要であり、ストレージシステムを顧客ごとに貸し出す方法では、コストがかなり過ぎてサービス化が難しい状況だった。そこで同社は、1台のストレージシステムを複数の顧客でセキュアに共有できるようにするマルチテナント機能に着目し、マルチテナント機能をサポートする各社のストレージシステムを公平に比較検証した結果、データの書き込み性能に優れたネットアップのWAFL（Write Anywhere File Layout）ファイルシステム等を高く評価し、NetApp FASシステムの採用を決定した。

ネットアップ TEL：03-5404-1200

日立製作所

大光銀行が次期基幹系システムとして
日立の「NEXTBASE」の採用を決定

大光銀行（本店：新潟県長岡市）は、日立製作所が提供する地域金融機関向け共同アウトソーシングサービス「NEXTBASE」を次期基幹系システムとして採用することを決定した。今回採用決定した次期基幹系システムは、平成25年度下期の稼働開始を予定している。大光銀行がNEXTBASEを採用する主な狙いは、以下の通りである。

- ◆お客さまサービスの向上：拡張性や柔軟性に優れた最先端システムの採用により、大光銀行のノウハウを活かした自由な商品設計が可能であり、お客様のニーズに合った商品やサービスをより迅速に提供することができる。
- ◆安全性の強化：最新のハード／ソフトウェアの採用により信頼性の高いシステム運営を実現。NEXTBASEは、既に6行での稼働実績があり、安定運用されている。また、コンピュータシステムは、バックアップセンターを有する2センター体制となっており、万が一の大規模災害時にも速やかな復旧が可能だ。
- ◆業務の効率化：NEXTBASEは、当行を含め第二地方銀行8行が加盟し、社団法人第二地方銀行協会加盟行向けとして業界最大規模（日立調べ、平成23年5月現在）の共同利用サービス型の基幹系システムであるため、新制度への対応や新規サービスの開発効率のアップが図られることとなる。

大光銀行は、最先端システムであるNEXTBASEの採用により、お客様サービスの向上、システムの安全性の強化、業務の効率化に取り組んでいく。一方日立は、今後もNEXTBASEにおける先進機能の追加を継続するとともに、採用行への確実なサービスの提供とさらなるパートナーの拡大を図っていき、また、営業店システムや情報系システムなどへのサービス範囲の拡大により、お客様満足度の向上を目指していく。

日立製作所 情報・通信システム社 TEL：03-4235-5045

マカフィー

NTT ドコモと Android 向け
セキュリティで提携

McAfee Inc.の日本法人、マカフィーは、NTTドコモのAndroid OSを搭載したスマートフォンに対し、Android搭載端末向けセキュリティソリューション「McAfee VirusScan Mobile for Android」テクノロジーの提供を開始することを発表した。NTTドコモは、VirusScan Mobile for Androidテクノロジーを、NTTドコモユーザー限定のセキュリティサービス「ドコモあんしんスキャン powered by McAfee」として、2011年7月1日より提供を開始する。

現在、スマートフォンやタブレットなど、新たなインターネット接続デバイスの普及が急拡大しており、サイバー犯罪者はこの分野への関心を高めている。マカフィーは、既に全世界で1億台を超えるモバイルデバイスにセキュリティを提供しており、日本では、世界初となる携帯電話向けのウイルス対策ソフトを2004年からNTTドコモのFOMA端末に提供することで、知識や経験を蓄積してきた。

マカフィーのVirusScan Mobileテクノロジーは、モバイルデバイスをウイルスや悪意のあるアプリケーションから保護し、重要なコミュニケーション機能を常に使用可能にするセキュリティソリューションである。ファイル、メール、インターネットのダウンロード、テキストメッセージやMMSメッセージ、添付ファイルのスキャンとクリーニングを自動的に行うことで、デバイスの安全を確保。Android搭載端末向けに開発されたVirusScan Mobile for Androidテクノロジーは、インストールされたNTTドコモのAndroid端末をマルウェアから防護し、個人情報の安全を確保し、外出中でも重要な通信機能が正常に動作するよう機能する。また、自動アップデート機能を搭載しており、新たな脅威が見つかったと即時にデバイスを防護するようになっている。

マカフィー TEL：03-5428-1226

アイシロン・システムズ

PetroChinaがアイシロンの スケールアウトNASを導入

EMCのディビジョンで、スケールアウトNAS分野をリードするアイシロン・システムズは、中国石油天然気集団会社のPetroChinaがResearch Institute of Petroleum Exploration and Development北西部支社（以下、PetroChina NWGI）向けにアイシロン スケールアウトNASを導入したことを発表した。PetroChina NWGIでは、OneFSオペレーティングシステム搭載のアイシロン Xシリーズにより、石油・ガスの探査、採掘、流通に使う各種アプリケーションを単一の共有ストレージリソースに集約、ミッションクリティカルな業務に使われるビッグデータの管理を簡素化することに成功した。また、ビジネス ニーズの変化に応じてパフォーマンスと容量を直線的に拡張することで、膨大なビッグデータ用のITインフラに必要な拡張性とスループット要件に柔軟に対応することも可能になった。

PetroChina NWGIは、世界規模の石油・ガス資源の探査、採掘、生産、流通を目的に、中国全土で広範な地質・地球物理の調査開発を行っている。アイシロンを導入する前は従来のストレージシステムを利用していたが、データの急増とパフォーマンス需要の拡大に対応できず、ワークフロー生産性の低下と運用コストの増加を招いていた。

PetroChina NWGIでは、アイシロンのスケールアウトNASを導入し、ミッションクリティカルな各種アプリケーションを単一のファイルシステムと管理ポイントに統合した。その結果、ビッグデータの管理が効率化され、石油・ガス探査までの時間を短縮することに成功した。アイシロンを利用することにより、PetroChina NWGIの科学者たちは地震データとアプリケーションに素早く一斉にアクセスできるようになり、作業と運用効率の向上につながっている。

アイシロン・システムズ TEL：03-5358-7188

チェック・ポイント

台湾のudn Shoppingがチェック・ポイントの UTMソリューションを採用

ゲートウェイからエンドポイントまでの包括的セキュリティを提供するチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズは、台湾のUnited Daily News Groupが運営するオンライン・ショッピング・ポータル udn Shopping（買東西）が、全てのオンライン取引処理および顧客情報の保護と、eコマース関連業務のセキュリティ管理を簡素化する信頼性と運用性を評価し、チェック・ポイントのUTM-1ソリューションを導入したことを発表した。

udn Shoppingのような総合オンライン・ショッピング・ポータルでは、全てのオンライン取引処理と顧客のクレジットカード情報を確実に保護することが求められている。この要件を満たすセキュリティソリューションとして、同サイトが選択したのが、ファイアウォールやIPS、SSL VPN、アンチウイルス、アンチマルウェア、URLフィルタリング、Webセキュリティなど主要なセキュリティ機能を備えるチェック・ポイントの統合ソリューション「UTM-1 3076」だった。また同サイトでは、UTM-1 3076の導入により、高い水準のセキュリティを実現している証として、情報セキュリティ・マネジメント・システム規格であるISO 27001も取得した。

United Daily Newsの事業開発部eコマース部門ゼネラル・マネージャを務めるスン・ジーホア（孫志華）氏は、「私たちは、お客様に便利で安全なオンライン・ショッピングの場を提供したいと考えています。導入したチェック・ポイントのソリューションによって、極めて高いレベルのセキュリティと統合管理を実現することができました。セキュリティ環境は大幅に簡素化され、日常的なIT管理業務の負担も格段に軽減されました。そして何よりもお客様が当社のサイトを安心してご利用いただけること大変満足しています」と語っている。

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ
TEL：03-5367-2500